



東日本大震災に学ぶ

先月号で京都大学大学院の藤井聡教授の「列島強靱化 10 年計画」をご紹介しましたが、私は最近、東日本大震災が日に日に風化し教訓として生かされないのではないかと大変心配しています。

日本の観測史上最大のマグニチュード 9 の地震と、それにもなあって発生した 15m もの津波により死者、行方不明者約 2 万人（これは私の住んでいる鳥取県八頭町の人口と同じ）もの被害を出し、今後 10 年間で 20 兆円の処理費用がかかると試算されています。また、国民が一番怒っていることは「東京電力福島第一原子力発電所事故」です。地震と津波によって電源喪失し、冷却機能を失ったことで炉心溶融に至り水素爆発を起こし、これにより放射性物質が広範囲に放出・汚染されました。11 万人以上の人たちが生活すべてを捨てて避難暮らしをし、未だに今後の目途が立っていないのです。東京電力はもちろんですが、指導・監督してきた政府の責任は万死に値します。

6 月時点放出されたセシウムの総量は広島原爆の 168 個分、チェルノブイリ原発事故では 55 万 Bq/m² のセシウムが飯館村では 326 万 Bq/m² 検出されたそうです。事故の重大さがよくわかると思います。

問題なのは過去に何度も原子力の専門家から、事故や万が一の場合に備えての提言があったにも関わらず、危機意識のない東京電力や政治家はそれを無視し続けました。今回の事故は起こるべくして起きた人災なのです。ある専門家は「原発であればどんなリスクも当然考慮すべきだ。あれだけ指摘したにも関わらず東京電力からは新たな調査結果は出てこなかった。『想定外』とするのは言い訳に過ぎない。もっと真剣に検討してほしい」と事故後言いました。事故後にイタリアやドイツは脱原発の方向へ向かっていますが、今の日本では経済界やその他既得権者が原子力行政を擁護し続け、政治家もその方向です。

どんなきめ細かな「マニュアル」ができて、「法令順守」などとカッコつけても全て問題が片付くわけではありません。形骸化した組織やルールは何の役にも立たないことがはっきりしました。政府は「コンクリートから人へ」などというスローガンを掲げ、多数の国民もそれに迎合しました。巨大災害が起こるということは予想できていたにもかかわらず、堤防などの防災施設の予算を削って、ばら撒き政策に使い「**国民の生命を守る**」という国家として**最も重要な責務を放棄した**のです。

世界で生じるマグニチュード 6 以上の地震の 2 割が日本で発生しています。静岡などを襲う「東海地震」87%、愛知県や三重県を襲う「東南海地震」60%、四国、和歌山を襲う「南海地震」50%、これは 30 年以内に巨大地震が発生する確率です。（30 年後ではありません）また、東京を直撃するマグニチュード 7 クラスの地震が 30 年以内に起きる可能性は 70% 以上です。（11 月 25 日の新聞には「東日本大震災の影響により周辺での地震発生率が震災前と比べて 10 倍以上になっている」とありました）

この「首都直下型地震」の経済損失見込みは 100 兆円以上ですが、重要なことは東日本大震災では被災地から距離の離れた地域の人々（私も含めて）は通常の暮らしを続けてきましたが、政治、行政、文化の中心地「首都東京」が被災すれば被災地以外（日本中）の国民生活に及ぼすダメージも深刻なものになると思います。

私たちは暮らしの中で自己防衛する事は当然ですが、藤井教授が「列島強靱化 10 年計画」で提唱されているような備えを行うよう、今こそ国に強く要求しなければいけないと思います。

（参照、藤井聡氏著「列島強靱化論」 Wikipedia「福島原子力発電所事故」）





会計検査こぼれ話

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂7版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和19年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

会計検査こぼれ話 : 「トンネルの中で再会」

高速道路建設最盛期の事務所へ検査に入りました。水曜まで書面検査をし、木曜日現場へ。私の担当は5 kmに及ぶ工事区間で、半分がトンネル、残りが明かり区間。トンネル内を切り羽に向かって歩いている途中で照明が切れてしまいました。懐中電灯で真っ暗な中をそのまま進みました。切り羽で工事長から岩盤の状況などの説明を受けていると、背後から人の気配があり、工事長は説明を中断し、「請負人の現場責任者を紹介します」と言います。真っ暗なトンネル内で顔は全く見えませんが、「〇〇と申します。よろしく申し上げます」という声を聞いて私はびっくり。高校時代の同級生〇に違いないのです。手にした懐中電灯を声の方へ向けるとそこには、高校時代と同じ真っ黒な〇の顔が。

〇とは野球部で一緒でした。彼は中学時代県大会の優勝投手で、高1の時からベンチ入り。毎日が球拾いの我々はそんな彼を羨望と嫉妬で見えていましたが、〇がいれば甲子園も夢ではないと希望を持ったものです。途中〇は肩を壊し、我々の夢も散ったのですが、懐かしい思い出です。彼がゼネコンに就職したことは聞いていましたが、会う機会はありませんでした。

しかし、検査中、懐旧に浸ってはいられません。その年私はトンネル工事の各部署に配置されている人員の過大積算を追っていました。業者にも直接実情を聞く必要があり、〇が検査場に呼ばれました。日常の配置はどうなのか本当のことを聞きたいのですが、公団職員が彼を囲んでメモを取っており、回答は要領を得ません。20年ぶりに再会の同級生を厳しく問い詰めるのも忍びず、検査はあいまいなまま終了。

その夜、宿泊している宿に〇からこれから訪ねて行って良いかとの電話がありました。断らざるを得ませんでした。しかし、その翌年、全くノーシードだった母校が二十数年ぶりに甲子園出場を果たし、〇と一緒に甲子園まで応援に行くことができたのは幸運でした。





レオ

ちゃんの製品紹介コーナー



◆◆◆◆ 製品ができあがるまで ◆◆◆◆

こんにちは！ライオン通信のレオちゃんです♪ 

これまで様々な製品をご覧頂いてきましたが、今回はちょっと視点を変えて、製品がどのようにして工場で作られているのか『製品ができあがるまで』の工程をご紹介します！



私都工場



バッチャープラント

原材料の一部(砕石など)



骨材ストックヤード

ベルトを通過してプラントへ運ばれます。

『Rブロック』というリサイクル製品として原材料にリサイクル材も使用しています



リサイクル
Rブロック



鳥取県認定グリーン商品

型枠・清掃組立～コンクリート打設



清掃された型枠に鉄筋など必要部材を設置し、入念に組み立てられます。その後、投入機によりコンクリート打設。テーブル振動機で十分な締め固めを行います。

プラント操作盤



ここで製品ごとに配合を設定し、混練りします。練り上がった生コンは移動トrolleyで自動的に工場内へ運ばれます。

上面仕上



コンクリート打設後、コテ仕上を入念に行います。

蒸気養生



前置後、養生室にて蒸気養生を行います。養生温度・時間などはオートコントロールされています。

養生は外気温によって、温度と時間が変わります。

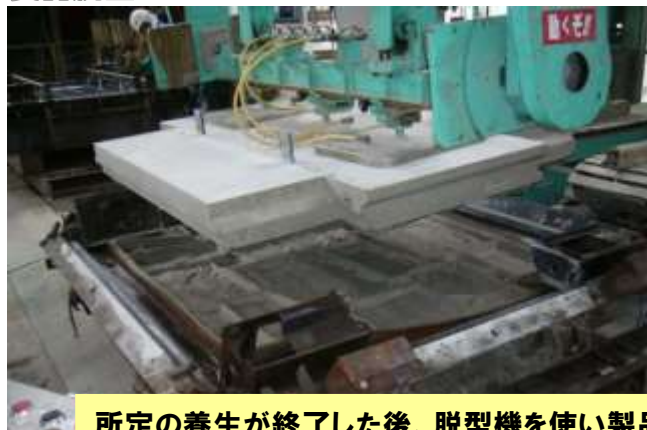


印字



製品ごとに、製品名・規格・製造日などを印字します。

製品脱型



所定の養生が終了した後、脱型機を使い製品を型枠から抜き出します。

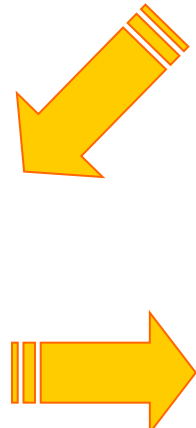
品質管理 <配筋検査>



配筋検査
寸法検査
強度試験
等々



<寸法検査>



製品堆積



かんたん側溝



<圧縮試験>

こうしてスタッフ全員が想いを込めて作った製品が現場へと搬入され、施工されます。



製品積込



出荷



積載重量検査

◆製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: **0858-73-0500**

までお気軽にどうぞ!

FAX : **0858-73-0535**

E-mail : info@kooge.jp



◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

恒例の動物占いです。辰年生まれの人は何をしてもテキパキとこなし、威勢よく負けず嫌い。涙もろくて同情心もあり親分肌の面もある、とのこと。
今年一年、小紙をお読みいただきありがとうございました。心より感謝いたします。大震災はじめいろいろなことがありましたが、来年は皆さんにとっても当社にとっても明るい年になることを心より祈ります。良い年をお迎えください。
(山根)



年末年始休業のお知らせ

弊社の年末年始休業は、下記の通りとさせていただきます。

12月29日(木)~1月5日(木)

★1月6日(金)より平常営業いたします。

来年も良い年でありますように...

<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> info@kooge.jp